

災害査定終る 総額 1億5千4百万円

北米濃地震、第2土室台風の災害復旧工事についての国の査定は11月25日で終り、査定総額1億5千475万6千円と認定されました。

市では今後、補助金、起債、市費によつて広範囲にわたる災害の早期復旧をめざし、目下尽力しております。今次査定のおもなものは次のとおりです

- 土木関係 8千607万5千円**
- 河川復旧、日詰川の669万をはじめ赤根川、黒谷川、矢戸川、八千代谷川など29カ所で9千957万9千円。
- 道路復旧、中洞桜久線の960万のほか20カ所で、1千991万1千円。
- 橋梁復旧、横枕橋の769万円のほか12

カ所で、9千919万1千円。
農務関係 886万3千円
農業施設復旧、頭首工、水路など14カ所で699万5千円。

農地復旧、2.5ヘクタールで186万8千円。

- 林道関係 5千981万8千円**
- 71カ所 982メートル
- 支向谷 2千419万9千円 17カ所
- ミノ又 1千291万7千円 15カ所
- 谷山 915万5千円 11カ所
- 宝慶寺 434万4千円 7カ所
- 嵐 409万2千円 9カ所
- その他4林道571万1千円 12カ所

勝原仮橋が開通 永久橋は明春完成



9月の台風から不通になっていた勝原～打波間の交通もこのほど勝原仮橋の復旧が終り、11月10日から開通しました。工費800万円を要した延長144メートル幅9メートルの木橋です。
なお大野土木出張所では、昨年8月仮橋から50メートル上流の地に、総工費4千万円でピーエスコンクリート橋(延長122メートル、幅4.5メートル)の建設をはじめ、明春9月には完成する予定です。これまで再三私たちが乙に宛り渡した場合の納税義務者は乙。
甲が立木を乙に売り渡し、乙が伐採し素材となし、丙に売渡した場合の納税義務者は丙。
(二)立木の伐採後3か月以内に素材について引取者がいない場合の納税義務者は、伐採時の立木の所有者。
例題
立木の所有者甲が伐採し素材となし自家の建築に消費した場合の納税義務者は甲
2.(税率及び課税標準)
税率は100分の2です。課税標準は素材の価格すなわち立木の価格に伐採造材費を加えた額となります。

木材引取税をお忘れなく。

木材引取税は必ず自主申告により納付してください。そのあらましを説明します。

1.(納税義務者)
(一)木材引取税は素材の引取に対し価格を課税標準として同一素材について1回に限り、立木伐採後の最初の引取者に課されます。
例題
イ 立木の所有者甲が伐採し、素材と

贈答小包は15日頃までに
年賀状は23日頃までに
年賀状はお早く！

大野郵便局



向上した飼育技術 飼料面で改善を

第2回大野市家畜共進会は11月8日国鉄大野駅東側広場で農家の皆さんや関係者多数出席して開かれました。この日は秋晴れに恵まれて、農家の皆さんがたん糟をこめて飼育した自慢の乳牛42頭、和牛49頭、鶏15羽が出され、県畜産課長、勝山家畜保健所長ら14名の審査員によつて慎重に審査が行なわれました。

乳牛では下摺の高橋誠一さん、和牛では金山の清水開造さんがそれぞれ名譽賞と決まりました。

有吉審査委員長の講評では、当市は家畜に対する研究が熱心で前回の共進会に比べて飼育技術が向上しており、乳牛和牛共に非常にすぐれている。今後は飼料面の改善に重点をおき、牧草を多く取り入れ、できるだけ飼育費を安くし、より一層畜産収入を得るように工夫されたいと強調されました。

の足を奪つた勝原橋も、明春からその心配がなくなるわけです。(写真は開通した勝原仮橋)

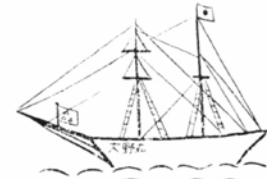
各部門別の第1位入賞者は次の通りです。

- 第1部 (ホルスタイン種未経産牛)**
中堀 安下共一
- 第2部 (ホルスタイン種経産牛)**
中堀 三宅 守
- 第3部 (ホルスタイン種系未経産牛)**
中堀 村西幸一
- 第4部 (ホルスタイン種系経産牛)**
麻生島 杉原崎男
- 第5部 (和牛肥育牛(6~15カ月))**
新河原 松田義夫
- 第6部 (和牛肥育牛15カ月以上)**
阿難祖 久保勇、塚原 印牧七郎
- 第7部 (和牛繁殖用未経産牛)**
塚原 福田政吉
- 第8部 (和牛繁殖用経産牛)**
堂島 村上末吉
- 第9部 (鶏(白色レグホン))**
小矢戸 石本惣右エ門

自在かき

大野丸

大野藩は安政2年頃より、諸藩にさきがけて北辺の地北海道、カラフトの開拓に著しい功績をあげた大野丸の活躍は大いに賞讃されてよい。安政5年、2基洋式帆船として進水した。たまたま6年8月、暴風雨の中を北海道に向つて航行中、函館沖合でアメリカ船「ヘスプリング」の難破しているのを発見、乗組員を救助するというエピソードもあるその後、食糧必要物資、人的輸送に北海の荒波をけつて活躍したが、元



(カットは大野丸)

期待される地籍調査 測量にご協力を

土地利用の高変化と土地改良事業をやりやすくするため、市では国土調査法に基づいて1筆毎の面積を測量し、正確な地図を作成する事業(地籍調査事業)を本年度より始める事になりました。本年度は中保、葛瀬池地籍を手始めとして平坦部5,030ヘクタール(町)を昭和41年までに完成しようというものです。今までは誰の所屬かわからない未利用の土地があつたり、境界の紛争があつたり、区画整理または交換分合など

をする場合に、いつも台帳面より広いとか狭いとかいろいろ問題があつて事業の実施をはばんでいました。地籍調査が完了しますとこんな問題が取り除かれ、民主的で明朗な事業が進められることとなります。この測量は非常に精密なものでありますから、境界について立ち会いをお願いしたり、くい打ちを行つたりしますから、十分ご協力くださるようお願いいたします。

歳末助けあい運動 恵まれない方へ温い心を!

年の瀬も近づき寒さも日毎に身寄りがなく、ひとりきりな人も多くなっています。この機会にひとりでも多く参加して、日頃考えていられているいろいろなご意見をお聞かせください。なお、日時は各事務嘱託員の方へお知らせいたします。

12月1日から各地区で 市長を囲む懇談会

市長を囲んでの市政懇談会が12月1日から各地区ごとに行われます。新年年度予算編成を前に、直接皆さんのご意見ご要望をお聞きして、住みよい大野市の建設と明朗な市政の推進をはかるためです。この機会にひとりでも多く参加して、日頃考えていられているいろいろなご意見をお聞かせください。なお、日時は各事務嘱託員の方へお知らせいたします。

永住をあきらめ山を くだる小池部落民

地震、台風と再度の大災害で生活源を失なつた上打波小池部落9世帯の人たちは市のあつせんによつて11月限りで、長年住みなれた土地に別れを惜しみつ、市街地へ移住されました。この部落の人たちの主なる生活源であつたワサビ、オウレン作りが相次ぐ災害で畑はほとんど全滅し、復旧の見通しがたがわず、同地に永住することができなくなつたもので福郷、東中、曙春日などの平坦地へ移住して、新しい生業につくことになりました。家財道具を背負つて故郷をふりかえ

求人案内 (市内分)

- (男子)
- 薬局店員1名 ~25才 8,000~10,000円
- 醤油味噌醸造店店員1名 ~22才 7,000~8,000円 住込可
- クリーニング店店員2名 ~25才 6,000~10,000円 住込可
- タイヤ修理店修理工2名 ~20才 7,000~8,000円
- (女子)
- 印刷会社事務員1名 ~95才 9,000円
- 建設会社事務員2名 年令不問 7,000~9,000円
- 機業場事務員1名 ~95才 7,000~8,000円
- 洋品雑貨小売店店員3名 ~25才 6,000~6,600円
- 寺院家事手伝い1名 ~50才 6,000円住込